

地域連携推進会議 議事録

開催日:令和8年3/24(火)13時30分~15時30分

参加者:石塚(管理者)、山口(サビ管)大越(利用者)、名倉様(相談支援専門員)、浅沼様(家族代理)、渡邊様(民生委員)、田邊様(訪問看護ST)

1. 概要説明

- ・経営理念、方針を説明
- ・地域連携を重視し、開かれたGH運営を目指す
- ・就労支援を軸に、服薬・食事・生活支援を実施

2. 運営状況

- ・各ホーム安定、重大トラブルなし
- ・定員:①7名 ②4名(現3名+サテライト1名) 赤羽根:定員5名(体験3名)
- ・職員18名(サビ管2名、管理者1名)
- ・夜間含め見守り体制あり(16:30~9:00)
- ・情報共有を重視し支援の質を統一

3. 支援体制

- ・全入居者に計画相談員あり
- ・訪問看護(24時間対応)や後見人等と連携 包括的な支援を目指す
- ・本人意向を尊重し、面談・カンファレンスを定期実施
- ・権利擁護研修や声かけを実施

4. 地域連携・課題

- ・開所当時は地域の理解不足や不安の声があった
- ・説明会でも理解が得られにくい現状があった
- ・GHを開かれた場所にする取り組みが必要
- ・茅ヶ崎市は相談支援専門員不足(セルフプラン多い)

5. 動物共生の取り組み

- ・保護犬と生活するGHとして運営
- ・現状トラブル・苦情なし
- ・動物との関わりが利用者の安心感につながっている

6. 利用者・生活状況

- ・通院は基本単独
- ・就労形態:一般・障害者枠・B型等
- ・費用:月7~8万円程度(補助あり)
- ・自立し生活保護から移行する例あり

7. 今後の展望・課題

- ・空き家活用や市内での事業拡大を検討
- ・SNS発信強化による透明性確保
- ・重度者・医療ケア対応のグループホームの開所

8. 見学

Akala→Akala2→Akala 赤羽根の見学

リビングやお風呂などの共有部などを中心に施設内の設備を見ていただいた

9. 意見交換

- ・夫婦での入居希望者が複数名いる
男性棟女性棟合わせて展開しているグループホームが少ない
- ・重度・医療ケア対応施設の不足が地域でも課題となっている
- ・身寄りがいないかたも多くいる
- ・民生委員より、今後機会があれば地域でのグループホームの活動について説明の場を設けてくださるとのこと

※全体として「地域理解の促進」と「多様なニーズへの対応」が今後の重要課題とされた。